

第2回 仙台市食育推進会議 会議録

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 令和2年1月31日(金) 15:00～ |
| 開催場所 | 本庁舎2階 第1委員会室 |
| 名簿 | 委員 高澤まき子(会長)、小野寺礼子、佐藤一夫、沢田石道子、白川愛子、高城みさ、中村美紀、平田政嗣、南文子、矢部サヨ、山形裕昭、渡辺淳子、舩山明夫、岡崎宇紹 (欠席委員=青沼清一、岩崎薫、高塚真澄、田沢克彦、遠藤和夫、佐々木洋) |
| | 事務局 内海消費生活センター所長、會田健康福祉局次長、川口保健衛生部長、木村健康政策課長、戸井田生活衛生課長、山田子供保健福祉課長、綾部運営支援課長、栗永廃棄物企画課長、横山農林部長(委員代理)、那須農政企画課農食ビジネス推進室長(課長代理)、岡崎宮城野区保健福祉センター家庭健康課長、相原青葉区保健福祉センター衛生課長、千葉教育局総務企画部長(委員代理)、西崎健康教育課長、田中生涯学習課長 主幹兼健康増進係長(司会進行) |

| 発言者等 | 発言内容 |
|------|---|
| 進行 | <p>< 1. 開会 > ただいまより令和元年度第2回仙台市食育推進会議を開催いたします。 初めに、本会議を代表いたしまして、高澤会長よりご挨拶を頂戴したいと存じます。高澤会長、よろしくお願ひします。</p> |
| 会長 | <p>< 2. 挨拶 > 皆様、こんにちは。 お忙しい中、お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。 7年前の2013年12月に、ご存じのように、「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコに登録されました。その背景として、自然に寄り添った食べ方を縄文時代から続けてきたこと、それから自然の恵みである野菜、山菜、海藻、魚で和食は構成されていることとございます。そして、「いただきます」と食事をする前に行う挨拶が和食を育ててくれた自然に対する感謝の気持ちを表すといった奥深い日本人の精神が食生活の中に宿しているところかと思ひます。 食文化の共通するところと申しますと、自然の尊重、健康の増進、絆の強化、これが大きな共通点ということになるかと思ひます。 ユネスコ条約の本当の意図というのは、危機に瀕している文化を保護することですので、放っておいたら消えてしまうかもしれない、ユネスコに登録されたからには、私たちはこの日本の食文化を守っていかなくてはなりませんし、次世代にも伝えていかなければならないところでございます。 食育推進委員の皆様におかれましては、それぞれの分野で食育の活動を実践していただきましたことのご報告をしていただき、そして皆様と共有させていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> |
| 進行 | <p>ありがとうございました。</p> <p>< 3. 定足数報告 > ここで、議事に先立ちまして本日の会議の成立についてお知らせいたします。 本日は、青沼委員、岩崎委員、高塚委員、田沢委員から欠席のご連絡をいただいております。16名の委員の方々にご出席いただいております、過半数の出席となつ</p> |

| | |
|-------------|--|
| | <p>ておりますので、仙台市食育推進会議条例第7条の規定により、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>なお、本日は仙台市経済局長の代理として横山農林部長、仙台市教育局長の代理として千葉総務企画部長が出席しております。</p> <p>< 4. 職員紹介 ></p> <p>また、本日出席しております事務局側の本市職員につきましては、お手元の市職員出席者名簿をごらんください。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>< 資料確認等 ></p> <p>続きまして、本日の資料の確認をお願いいたします。</p> <p>お手元の会議資料一覧をごらんください。</p> <p>資料1、資料2-1、2-2につきましては、委員の皆様には事前にお送りしたものでございます。</p> <p>また、本日の配付資料といたしまして、「主役は野菜！～野菜を使ったレシピ集～（抜粋）」版を机上にお配りしております。</p> <p>以上、資料の不足はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、これからの進行につきましては会長にお願いしたいと存じます。高澤会長、よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>会長</p> | <p>それでは、議題に移ります前に、まず議事録署名人につきまして私のほうから指名をさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本日の議事録署名人につきましては、中村委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に移ります。</p> <p>< 5. 議事 ></p> <p>(1) 令和元年度食育推進事業実施状況について</p> <p>議事(1) 令和元年度食育推進事業実施状況でございます。</p> <p>仙台市食育推進計画第2期後期計画の食育の5つの柱に基づいて、それぞれの事業を展開していると思います</p> <p>まず、資料1に基づきまして、令和元年11月末までの状況を各委員の皆様からご報告いただきまして、情報共有を図り、その後、意見交換を行ってまいりたいと思います。</p> <p>新規事業、拡充事業などを中心に、お1人当たり2つから3つほどピックアップしていただきまして、ご報告をお願いいたします。</p> <p>また、ご発言の際は、資料の記載ページもあわせてお話しいただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、私のほうから指名させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>では、活動の分野ごとにご報告いただきたいと思います。</p> <p>初めに、医学や栄養の専門性を生かした活動ということで、ご報告いただきたいと思います。仙台歯科医師会の平田委員、よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>平田委員</p> | <p>仙台歯科医師会の平田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>2ページと3ページをごらんください。</p> <p>我々仙台歯科医師会は、歯と口の健康から市民・県民の健康にいかにか寄与しているかというところを中心に活動しております。</p> <p>皆様ご存じのとおり、12歳児における虫歯の罹患率は年々下がっております。しかし、実は12歳からどんどん虫歯は増えていって、30歳では20年前と余り変</p> |

| | |
|------------|--|
| | <p>わからない有病症率になっている事実がございます。</p> <p>さらに、歯周病を考えていくと、全国においてもワーストから数えたほうが早いような状況がずっと続いているのが仙台市の状況だにご理解いただければと思います。</p> <p>ということを考えていくと、やはり虫歯や歯周病というのは、あくまで生活習慣病ということですので、まずは生活習慣、食生活を整えていかなければいけないということで、歯科保健指導等々をさまざまなイベント等での情報提供だったり共有だったりをしながら進めていっている状況であります。</p> <p>2ページのE-1高齢者のフレイルに口腔機能低下症と書いてありますが、皆様に今回情報提供したいのは、口腔機能発育不全症というものです。これは、子供たちの口の中の発育が非常によろしくないことが実はかなり前から言われておりまして、2年前に病名もつきました。この機能不全に対して何とか対応できないかというところなんです。</p> <p>実際にしっかりかめない、かまない子たちが増えてきていて、自然のしっかりかみごたえのあるものをしっかりかんでいく食生活がなかなかおろそかになってきているのではないかという部分にもかかわってくるんじゃないかと思えます。このような発育不全症を防いでいく、もしくはしっかりと発育されていくという意味でも、食育という部分は非常に大事だと思います。</p> <p>このような状態で歯並びが悪くなると虫歯が増えて、歯周病が増えることの一因となってしまいます。機能が低下していっているような状態で高齢者になってくると、レベルの低いところからさらに機能が落ちていくので、歯と口の状況も非常によくない。それに関しては機能低下をいかにして機能を向上していくか、その根本としての子供たちの発育を考えていかなければいけないかなという部分で、さまざまなイベント等々で啓発しているというのが現状です。</p> <p>例えばA-1の2、歯と口の健康週間市民のつどいでは、大体800名ぐらいの市民の方に対して、さまざまなブースについてやっておりますし、①-Bの3におきましてPTAフェスティバルでもやっているところです。</p> <p>仙台歯科医師会では、毎年スマイルという小冊子を出しているんですけども、今年は東京オリンピックということで、スポーツについて特集したスマイルという冊子を発刊しました。スポーツドリンクとの正しいお付き合いの仕方等も情報提供しています。</p> <p>以上でございます。ありがとうございました。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ありがとうございました。高齢者が増える今、子供のころからの食が大切ですね。子供のころからの食生活は十分気をつけなければならないと思いました。</p> <p>それでは、続きまして、宮城県栄養士会の南委員、よろしくお願いたします。</p> |
| <p>南委員</p> | <p>宮城県栄養士会の南でございます。</p> <p>私ども宮城県栄養士会におきましては、さまざまな活動を行っておりますが、今お話しがあった歯科医師会のイベントにも参加させていただいております。</p> <p>そのほかに、例年ですと11月ごろにやっておりましたが、昨年度から8月に月日を変えまして、いい日いい汗栄養まつりを開催しております。健康づくり関係団体と連携いたしまして、最新の健康・栄養情報を食事診断とか健康・栄養相談、栄養講話など、実際の体験を通じて普及啓発を行っております。これは毎年1回、必ず開催しております、宮城県栄養士会単独の事業ではございますが、歯科医師会の皆様にもご協力いただきまして、また、ほかの皆様にもご協力いただきまして、実際の食事指導等を行っておりますところでございます。先ほどフレイルの話もありましたが、この中でもやはりフレイル対策ということも実際に</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>行っております。</p> <p>また、健康づくりの公開講座も行ってございまして、昨年度は 10 月に 1 回だけですが、通年ですと 2 回ぐらいずつ開催しております。今回は、時間栄養学で食生活を見直しませんか、1 日 3 食いつ食べて、どう食べますかというような提案ということで、皆様と調理実習を一緒に行いながら講演させていただいております。</p> <p>また、被災地支援事業として、被災されました南三陸の方々を対象に看護協会様と一緒に、健康相談を行っております。これは毎年、大体回数として 31 回、スタッフ会議、全体会議で 10 回開催いたしまして、頻繁に行っております。今後いつまでするかはまだわかっておりませんが、できるだけ長く続けていきたいなと思っております。南三陸を集約拠点とした 8 つの団体、復興公営住宅等の対象者に対する支援を行っております。</p> <p>また、福祉に関する研修会として、高齢化社会の中で経口移行に関する管理栄養士の役割や、要介護高齢施設における嚥下調整食に関しまして、なかなか浸透していないところがあるので、各施設の皆さんにご参加いただきまして、経口移行に関するさまざまな役割等をお示しさせていただいております。これは今後も年 2 回の計画で続けていきたいなと思っております。</p> <p>以上、大体このようなところでございます。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>歯科医師会との連携活動ですとか、実習を行いながらの講演、さらには被災地での支援活動ということで、非常に幅広い活動であったなと思います。</p> <p>それでは、次に次世代の子供たちやその保護者を対象とした食育活動として、仙台市私立幼稚園連合会の沢田石委員からご報告いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p> |
| 沢田石委員 | <p>7 ページの中段をごらんください。</p> <p>新規事業といたしまして、おたよりやホームページからの情報発信ということで、幼稚園児全 234 名と保護者に向けて広報いたしました。おたよりやホームページを通して野菜の栽培の様子を伝え、食育の取り組みを保護者に広報し、園児たちの活動の様子、声を紹介し、食育への関心を高めることに努めました。1 年間を通して、その季節ごとで発信をまいりました。</p> <p>それから、今年 2 年目になりますが、幼稚園の教職員 160 名に向けて研修会を開催し、「食育の実践に学ぶ」ということで話題提供してもらい、その話題を受けてのグループ討議、そして高澤先生をお呼びしてまとめと講話をしていただきました。</p> <p>次のページをごらんください。8 ページ目の一番上、みそ汁作り隊をご紹介したいと思います。</p> <p>園児数は 4・5 歳児 57 名。最初は 25 名の 5 歳児で取り組みました。栄養士と相談をして、給食の日のみそ汁の中身を話し合っ決めていくというものです。栄養士は最初子供たちから出た案を否定せず、みそ汁に入れてみたいというものを入れさせました。</p> <p>まずは何を入れたいか相談し、昆布でとっただしに頭とはらわたをとった煮干しを入れて、子供たちが検討した結果の具材が入りました。中身は、トマトとかスイートコーンとかブロッコリーとか、えっと思うような食品がいっぱい入ってきて驚きましたが、子供たちにとっては、とってもおいしかった、自分たちが考えたのがみそ汁になった、そして最初の特典として味見をさせてもらった、それがすごくうれしかったようです。また、みんなの前でその具材を発表することが</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>誇らしくて、この係になった子たちは次のグループへと伝承していったのですが、それが1巡目を回ったら下の学年もやりたい、そしてやって、さらに2巡目になったときに栄養士から、みそ汁っていうのは季節に合った食材を入れることや彩りを考えること、上に浮く食材、下に沈む食材があるのだということを教えてもらって、またみんな考えたのですね。このようなことを教えてもらう前に、みんな好きなものを入れたということが体験としてありました。2巡目になったときにはいろいろ考えて、そして相手の喜ぶ顔を思い浮かべながら考えなきゃならないということもわかってきました。食育ってこのような日々の取り組みの中で、発展的に毎日取り組んでいくこと、今回は毎日ではありませんけれども、月2回の取り組みの中で行われたことが私はとてもよかったなと思っています。</p> <p>食事はとても身近なところで、小さい施設だと「くうねるあそぶ」という言い方をしますけれども、食べることは人間の根幹をなすことだということを今回の活動を通してすごくわかりました。</p> <p>そして、子供といえども、人が喜ぶところが見たいという気持ちになっていく食育活動、私はこれからもさまざまな場面で食育活動、そしてもちろん幼稚園全体でも広めていきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>みそ汁をつくるに当たって、子供たちで考えて、そして最終的には相手のことまで考えることができたのは、すごいなと思いました。</p> <p>先ほどお話がありましたように、研修会には私も参加させていただきました。幼稚園でも保育所でも園庭が広いところもあればそうじゃないコンクリートタイプもあるということで、全部が全部、畑づくりができるわけじゃないことがグループごとの話を聞いてよくわかりました。では、できないところはどうしたらいいのということで、プランター栽培でもいいということをご参考までにお話をさせていただきました。</p> <p>それでは、続きまして、仙台市保育所連合会の小野寺委員、お願いいたします。</p> |
| 小野寺委員 | <p>仙台市保育所連合会の小野寺と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>保育所連合会の主な取り組みについてご報告申し上げます。</p> <p>仙台市保育所連合会では、毎年、保育所等の保護者に向けて健康的な食習慣について情報発信を行っております。</p> <p>資料の9ページをごらんください。具体的な取り組み①-B-7、食育推進担当者の資質向上として、各種研修会を実施しております。</p> <p>事業1の保育所連合会栄養士研修等ですけれども、実施内容として、食物アレルギーと記載されておりますが、今年度は幼児食の悩みについて、それから小学校までに育てほしい姿というテーマで研修会を実施いたしました。訂正をお願いいたします。</p> <p>研修を通して、食事の悩みを抱える保護者に対しての具体的な支援の方法を学びました。また、小学校の様子を知ることができ、それぞれの施設において就学に向けた食事面の配慮に生かしているところです。</p> <p>事業2、保育所連合会給食担当者研修会ですが、今年は乳幼児における食物アレルギーについての研修を実施いたしました。アレルギーについての理解を深めるとともに、緊急時の具体的な対応について学ぶことができ、施設での安全な食事の提供の実践につなげております。</p> <p>次に、事業3、保育所連合会給食会研究委員会についてです。栄養士研究委員会において毎年テーマを設けて研究・発表を実施し、成果を上げております。今</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>年度は保育所等の給食献立作成において不足しがちな栄養素のとれるレシピの開発に取り組み、保育所等における給食の質の向上を図っているところです。</p> <p>以上、仙台市保育所連合会の取り組み事例について報告いたしました。以上でございます。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。日本人の不足しがちな栄養素という、カルシウム、鉄、食物繊維と挙げられていますが、そちらのほうにも取り組んでいらっしゃるというお話もございました。</p> <p>続きまして、仙台市PTA協議会の高城委員、よろしくお願いたします。</p> |
| 高城委員 | <p>仙台市PTA協議会の高城です。よろしくお願いたします。</p> <p>資料は10ページをごらんください。</p> <p>PTA活動など、学年行事などを利用して、通年、親子料理教室とか給食試食会で、保護者にもお声がけをして子供たちと一緒に料理をつくったり、通常子供たちが食べている給食と一緒に食べたりしております。その際に、栄養士さんなどをお招きして、非常に役立つお話、講話などをしていただいて、保護者の方にいろいろ知識を持ち帰っていただくという活動を行っております。</p> <p>地産地消は、その地域にもよりますが、農家の方に協力をしていただいて、田んぼ、畑などを貸していただき、田植え、収穫などの農業体験活動を通して子供たちに生産に触れて、収穫でできたものをその後料理して食べるなど、実際に肌で感じていただく体験をしております。</p> <p>以上です。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。こちらのほうは盛りだくさんですけども、参加人数はおよそどれぐらいですか。</p> |
| 高城委員 | <p>最近ですと、保護者は平日の昼間の開催ということもあってだんだん減ってきてはおりますけれども、給食試食会などは低学年で行うことが多く、小学校でいうと入学したて、中学校だと1年生で開催していて、ほとんどの保護者が参加するので、参加率は高いです。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。減ってきているというところをもうちょっと増やしていくためにはどうしたらいいかということも少し視野に入れたほうがよろしいですね。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、幅広い年齢層に向けて地域に根差した活動を続けていらっしゃいます食生活改善推進員協議会の矢部委員、よろしくお願いたします。</p> |
| 矢部委員 | <p>仙台市食生活改善推進員協議会、矢部でございます。</p> <p>11ページでございます。毎年行っているみやぎ地区まつりに今年も参加し、地域との交流を図る目的でお好み焼きを焼いて販売いたしました。</p> <p>それから、3年連続で広瀬高校の3年生を対象に調理実習等を2回に分けて実施しました。食改員さん10名に参加していただいて、食を通した健康づくりの実施、朝食の必要性と食事バランス、調理実習をいたしまして、レモンの焼きそば、具だくさんピリ辛みそ汁を作りました。生徒さんからは、塩分を気にすることが大切であることを知りましたということ、普段自分が本当に濃い味で食べていたことを知ったということ、早く薄味になれていきたいというご意見が出ました。</p> <p>次のページの下の方、はらこ飯教室を栄養士さんのご指導のもとで初めて実</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>施しました。阿武隈川に遡上してくる鮭は古くから名高く、郷土料理としてすばらしいという栄養士さんのお話を受けまして、秋の味覚をたくさん味わうことができました。古くからの料理を大事にしたいことと、地域に普及できたらいいなと感じました。12名の食改員さんの参加でした。</p> <p>ヘルスマイトのパートナーシップのみそ汁測定では、食改員さんが今回は20軒、塩分測定器を持って家庭訪問をいたしました。ここ3年ぐらいやっていますが、だんだん薄味が定着しております。そして、みそ汁も三度三度飲まないで、朝だけの人が多かったようです。</p> <p>それから、食改員11名で、やさしい在宅介護勉強会を6月26日にテキストを用いてやりました。毎年たくさん集まっています。また、令和2年もやりたいと思っています。</p> <p>以上です。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございます。高校生対象に3年連続、そして次も継続していくということで、次の世代へ伝えるという重要な活動かなと思っています。特に塩分のお話がありましたけれども、食事摂取基準の2020年版になりますと、これまでの食塩の目標量が男性ですと8グラム、女性ですと7グラムだったものが、さらに0.5g減りまして、男性7.5g、女性6.5gということで目標量が定められるということになるので、いかに薄味になれていくかも大事なかなと思います。</p> <p>それから、みそ汁は朝によく飲むけれど、3食はなかなか飲まないという現代の人たちではありますけれども、私も調査をさせていただきましたところ、過去の話ですが、若い世代層の人たちはみそ汁を飲まなくなっているという状況がありました。週に2～3回飲むぐらいですというような人もどんどん増えてきている状況ですけれども、みそ汁って非常に大事でして、毎日みそ汁を飲みますという方はがんになりにくいという結果も出ておりますので、ぜひ推進員の皆様にもしっかりとみそ汁はとっていただきたいなと。そして、野菜をたくさん入れていただきたいなと思うところでございます。</p> <p>続きまして、健康づくりから地産地消まで幅広い活動に取り組んでおられます宮城県生活協同組合連合会の渡辺委員、よろしく願いいたします。</p> |
| 渡辺委員 | <p>宮城県生協連の渡辺でございます。</p> <p>17ページ真ん中に、生産者や流通関係者による情報発信や産地を盛り立てる活動を応援しますということで、会員生協でありますみやぎ生協の取り組みを2点ほどご報告したいと思います。</p> <p>まず、みやぎ生協は震災の後、地域産業の活性化ということで、古今東北というブランドを2015年に新しくデビューさせました。この古今東北は、震災以降、販路の拡大がままならない産業、水産関係の産業等を後押しするために、宮城県の商品を加工して開発して販売するという工程を通して地域の活性化に貢献しているということでございます。</p> <p>当初の商品、38品目でしたが、今年度、19年度の11月では187品目まで増やして、宮城県の食材だけではなく、東北全域に地場産の地産地消という観点からえりすぐりの商品をピックアップして加工・商品化するという活動を行っております。本年度、地産地消の取り組みが評価されまして、農林水産省の食料産業局長賞を受賞することができました。</p> <p>最近の特徴としましては、宮城学院女子大学現代ビジネス学部の学生さんたちと一緒に宮城県の食材を使って共同開発ということで若者の新しい目線で何点か商品開発しているところが大きな特徴かと思っております。</p> <p>それから、続きまして下の段になりますが、新しく推進の柱に加わりました食</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>品ロス削減の取り組みということで、こちらはみやぎ生協のフードバンクの取り組みをご紹介します。</p> <p>フードバンクはご存じのとおり、商品に何ら問題がないにもかかわらず、包装の破損など、さまざまな理由によって市場で流通販売ができなくなってしまった食品を企業様、団体などから寄附という形で受け取って、それを福祉施設、困窮者の食品を必要としている人たちにお届けするという活動で活動しているものでございます。今年度、10月20日現在でございますが、68.8トンを受け入れ量として、68.5トンを提供しております。また、企業さんがどんどん増えておまして今年度125団体、それから宮城県社協、仙台市社協さんを通して施設や団体等、331団体に寄贈しております。また、直接何件かの子ども食堂さんにお届けすることができまして、本当に大切な食べ物を必要な人にピンポイントにお届けする活動として継続的に行っていきたいということでございます。</p> <p>以上、報告でございました。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。生活協同組合さんでは5つの柱全てを網羅した活動だと思って見ておりました。</p> <p>続きまして、健康で安心・安全な生活について活動されている立場から、みやぎ・環境と暮らし・ネットワークの山形委員、よろしくお願いいたします。</p> |
| 山形委員 | <p>みやぎ・環境と暮らし・ネットワーク、山形です。よろしくお願いいたします。</p> <p>18ページ、19ページです。仙臺農塾を継続して行っておりますが、社会人の食育をテーマに、幾つかのテーマをその回ごとに設定しております。牛乳・チーズや県北の加美町の里山の作物と農泊などのテーマで行っております。仕事帰りの方々にお立ち寄りいただき交流を持っていただいて、農業それから食についてレクチャーをして話題を共有するような形です。</p> <p>続きまして、19ページ、一番下の段のところですが、新浜のほうで農薬を使わずに有機農法でお米をつくって、メダカを放してメダカ米、ビオトープみたいな形をとった農家の方にこちらの食部会のほうに参加していただいておまして、そこの田んぼの見学会と、メダカの放流と、近くにビオトープがありますので、そこの見学をして、海岸を散策しつつ、子供さんなども参加していただいて行いました。</p> <p>今後もこういったイベント、食に関する勉強会などを続けていきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。農薬不使用ということの現状ですとか拡充ということで、これはぜひとも広めていっていただきたいなと思っております。</p> <p>では、次に大学での取り組みについてのご報告をお願いいたします。宮城大学の白川委員、よろしくお願いいたします。</p> |
| 白川委員 | <p>宮城大学の白川でございます。</p> <p>資料の23ページをごらんください。</p> <p>事業の1番ですけれども、例年どおりになります。私どもは食産業学部ということで、食に特化した教育を行っている場でありながら、学生が忙しいということもあり、自身の食生活に対する意識があまり高くない学生が結構おりますので、授業等を通して少しでも食生活を改善したいと、食育に関する取り組みを行っております。特に大学生は次世代の健康と食育を担うという点で非常に重要であることを伝えるようにしております。</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>次に、真ん中の①-A-5のところ、朝ごはんフェアです。宮城大学のサークルの@グリーンというグループが本学の森本素子教授のご指導のもとで、大学の農場で栽培した野菜とか寄附による食材などを利用して、本学の加工棟で学生が自主的にスープやパンをつくって、無料で朝ごはんを提供する取り組みになっております。最近先生も学生も忙しくて、回数が減りつつありますが、1回の参加者が約100人から140名ぐらい、非常に多くの参加があります。今年度はこの取り組みがみやぎ食育奨励賞を受賞いたしました。</p> <p>最後のところになります。今年度は若林区の南小泉老壮大学でロコモとサルコペニアに関する講演をさせていただきました。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。みやぎ食育奨励賞受賞ということで、ますますこちらのご活躍、活動をよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、続きまして、農業・生産・流通という立場からの取り組みにつきまして、仙台農業協同組合の佐藤委員、よろしくお願ひいたします。</p> |
| 佐藤委員 | <p>仙台農協の佐藤です。</p> <p>地産地消を進める具体的な取り組みといたしまして、市民や子供たちが生産者と触れ合い、農業を体験する機会をつくり出すという取り組みが21ページに3つほどあります。</p> <p>あぐり塾の開催ということで、これは毎年やっているんですけども、今回は第8期生を募集しました。広報誌、具体的に言うと河北ウイークリー等で募集した市民の方、12名に集まっておりました。稲作に特化して、田植えと生き物調査、稲刈り、最後に新米試食会をやってきました。今回は稲作に特化しましたが、前年とその前は果樹と畜産と、いろいろ農業に関することを全部やっておりました。年間10回ほど集まるような形になりましたけれども、今回は4回ほどで終了しました。卒塾式も終わり、農協とのつながりもだいぶ強くなりまして、組合員さんになっていただいた方もおりました。</p> <p>2番目といたしましては農業体験ということで、地区の青年部、農家の若い人たちの力をかりまして、田植えが小学校6校、生き物調査が1校、稲刈りが8校ほどやりました。田植え時期が5月、生き物調査時期が7月、稲刈り時期が10月ということで、それぞれ600名、120名、600名に参加していただきました。ジャガイモの収穫等についても杉の子保育園とか、バケツ稲作を国見小学校でやっておりました。</p> <p>3番目につきましては、ただいま進行中の豆腐づくり講座です。地産地消の大豆ミヤギシロメを使っていただきまして、豆腐づくりを指導しております。1回につき35名前後、大体3時間ほど、9時から12時までという形でやっております。実際に私も指導しています。あと4校ほど残っているような状態です。</p> <p>あと、ここには載っていないのですが、地産地消ということで、今回は小学校と中学校の学校給食に仙台農協で開発しましたソイヨーグルトを、11月11日から15日の間、5日間で大体7,000個ほど提供しました。牛乳を使っていないため、牛乳アレルギーの人も安心して食べられるということで好評でした。これはマーケティング課で開発しまして、今回初めて提供しました。</p> <p>以上です。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。地区の青年部の方が主体となってということですが、何名ぐらい、ご参加いただいたのでしょうか。</p> |

| | |
|--------|--|
| 佐藤委員 | 1つの学校について大体5～6名で指導しております。 |
| 会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、最後に私からもご報告申し上げたいと思います。</p> <p>次のページ、22ページになります。前回もお話ししたかと思いますが、ロコモシンドロームということで、ロコモ食として特別な献立を立てるということではなく、日ごろ使っている食材をうまく組み合わせて食べることが大事だということをお話しし、そして実際に実習に取り組んでいただきました。</p> <p>参加された方は、このような程度でいいのかというような感想を持たれてまして、これだったら私だって日ごろできますというような状況でした。そして友達にもこれなら伝えられるという言葉をいただきました。その場で終わらず、講座を受けた人が今度は周りの人たちに伝えることって非常に大事だなと思いました。</p> <p>それから、地産地消を進めようの1つ目、「育てよう、夏野菜。夏野菜でクッキング」、これは私のゼミ生が中心になって、これまで市民農園を借りてやっていました。昨年4月からは大学の中の敷地の一角を借りまして、畑づくりをして、夏野菜を育て、収穫し、そして調理をして共食、みんなで一緒に食べるという一連の流れをさせていただきました。さらにはサツマイモを植えさせていただきました。11月ぐらいに収穫して、ふかして終わりではなくて、調理科学的な分野で、とれたてのサツマイモをふかす、オーブン焼き、電子レンジ、そしてゆでる、調理操作の違いでサツマイモの甘さはどう変わるのかを実際に試食しながら甘さ比べをしました。専門的なところをお話し申し上げますと、イモの中に酵素が存在しています。それはアミラーゼという、でんぷんを糖に分解する酵素です。その酵素は働く時間が欲しいので、電子レンジの場合には働いている時間が少ない。ですので、甘みが弱い。ふかすとか、オーブン焼きは結構時間をかけるので、外側からじわりじわりと熱が伝わって、中までしっかりと焼き上がる、蒸し上がるので、その間に酵素が働きますから、甘みが強くなるということを実感していただきました。</p> <p>以上でございます。</p> <p>続きまして、仙台市の取り組みについてご報告をお願いしたいと思います。</p> <p>まず、子供未来局からお願いいたします。</p> |
| 子供未来局長 | <p>それでは、子供未来局関連の主な取り組みについてご説明いたします。</p> <p>初めに、資料1の26ページの中段の具体的な取り組み①-B-8をごらんください。</p> <p>妊産婦や乳幼児の食事について、各保健福祉センターや各総合支所の栄養士や保健指導の専門職が、母子健康手帳交付説明会や育児教室、離乳食教室、幼児健診の機会を捉えて、妊産婦や乳幼児の健康的な食生活についての啓発や個別相談に応じているところです。</p> <p>次に、保育所等における食育の取り組みでございます。保育所等におきましては、施設ごとに食育計画を作成し、バランスのとれた給食の提供や保護者への情報発信等に取り組んでおります。旬の素材や地場産品を活用した日々の給食の提供はもとより、園庭での野菜の栽培や子供たちの好きな絵本に登場する料理の提供、近隣の商店の協力を得て行う魚の解体見学など、子供たちに食への興味、関心を持ってもらえるよう、施設ごとに工夫を凝らした取り組みを行っておりますが、何よりも毎日友達や保育士と食事を共有する機会を積み重ねていけること自体が保育所等における食育の中心になっていると考えております。</p> <p>保育所等におけるその他の取り組みを幾つかご紹介いたします。</p> |

| | |
|------------|--|
| | <p>26 ページの①-B-7、事業名、保育所連合会栄養士研修等をごらんください。民間の認可保育所等と公立保育所で組織する仙台市保育所連合会の取り組みにはなりますが、今年度は給食の献立作成において、不足しがちな鉄、タンパク質、食物繊維などの栄養素をとれるよう、給食に取り入れやすく、子供たちにも喜ばれるメニューの検討を共同で進めてまいりました。ここで作成したメニューを年度内に冊子としてまとめ、各保育所等で活用していく予定です。</p> <p>続いて、資料にはございませんけれども、公立保育所における米づくりを通じた取り組みをご紹介します。</p> <p>ある保育所の2歳児クラスの子供たちがたらいに苗を植えて、水やりや収穫、脱穀、もみすりなど、稲が生長し、米になるまでの経過を1年通じて体験しました。さらに、収穫した米を保育所で炊飯し、自分たちでおにぎりをにぎって食べたり、近隣のお米屋さんを見学したり、ちぎった紙を使った米とぎごっこを行うなど、米づくりの体験をベースにさまざまな食育活動に展開させてまいりました。これにより、子供たちの食への興味や関心が高まり、食べる意欲につながったことや、保護者へも活動の様子を伝えることで関心が高まり、家庭でも子供と一緒に米とぎをするなど、保育所と家庭が連携した食育となったことから、先日、庁内の保健福祉関係職員の業績発表会において職員で共有したところでございます。</p> <p>今後とも各施設において職員と家庭と連携し、さまざまな食育の実践に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>以上です。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。子供対象の食育ということでございましたけれども、学ぶことによって、今度は家庭で実践していただける子供たちになってもらえるといいなと思いました。</p> <p>続きまして、経済局、よろしく願いいたします。</p> |
| 農林部長（委員代理） | <p>経済局の取り組みでございます。</p> <p>資料の30ページから32ページにかけて経済局で行っていることでございます。</p> <p>小学校、一般市民などの市場見学への対応の中で、夏休み親子市場見学会を開催させていただきました。参加する方には少し頑張って早起きしていただいて、朝6時集合で、ダイナミックに動いている市場の姿を見ていただいております。</p> <p>市場は、大体24時間で分けて考えますと、日付が変わるか変わらないぐらいの夜中にもうその日の取引されるものが届き始めまして、4時台ぐらいまでが荷物が届くトラックが出入りするピークになります。そのころになりますと、買い付ける業者さん、小売店、スーパーマーケットの仕入れ担当の方々も続々と集まってまいりまして、朝6時の競り開始ぐらいが毎朝盛り上がりの頂点になります。競り落とされたものが同じ敷地の中で仲卸さんと呼ばれる業者さんのところに運ばれて、マグロの解体や、スーパーマーケットで売られるような小分けにしてパック詰めされて、朝8時ごろにはもうみんなトラックが市場から出ていくと。8時半ごろ、普通の会社とか学校が始まる時間には逆に市場は閑散とするというのがサイクルになっています。朝6時ごろから8時ごろまでのダイナミックな市場を見ていただいて、市民の皆さんの食卓を支えるためには、夜が明ける前からこんな大勢の人が市場で働いているというのを見ていただくというのをやっています。おかげさまで好評いただきまして、大体、年によって開催回数は若干前後しますが、今年度は2回開催して90名弱の皆さんに来ていただきました。</p> <p>それともう一つ、その下になりますが、仙台市旬の香り市というものをかなり</p> |

| | |
|------------------|---|
| | <p>以前から開催しております。勾当台公園市民広場のところで大体年間 14 回、真冬を除いて第 2・第 4 水曜日、開催日もだんだん固定しておりますので、リピーターの方が多いのが特徴でございます。実際、生産者の方が訪れまして対面販売、消費者の方と生産者の方が交流する場としても非常にいい感じになっております。</p> <p>あと、毎年やっていることは大きくは変わりませんので、資料をごらんいただければと思います。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。流通系のお仕事の方々は非常に朝早い時間帯にお仕事をされていらっしゃるということで、そういった場面も見るということは大事なかなと思います。</p> <p>続きまして、教育局、よろしく願いいたします。</p> |
| 総務企画部長 (委員代理) | <p>教育局における主な事業の実施状況をご報告いたします。</p> <p>資料は 33 ページをごらんください。</p> <p>初めに、具体的な取り組み①-A-1、学校給食フェアでございます。文部科学省では、学校給食の意義・役割等について理解・関心を深めるため、毎年 1 月 24 日から 30 日までを全国学校給食週間と定めまして、児童生徒、保護者はもちろん、広く市民の皆様を対象とした取り組みを進めることとしております。本市におきましても、これに合わせて、今年度は 1 月 23 日から 28 日まで、土日を除く 4 日間、学校給食フェアを開催いたしました。</p> <p>この学校給食フェアでは、市役所の地下食堂の運営事業者にご協力をいただきまして、実際の学校給食の献立をもとにしたメニューを提供いたしました。今年度は教科書や絵本に登場する献立というテーマで、市内 4 校の献立を取り上げまして、提供させていただいております。また、1 階ギャラリーホールにおきましては、献立の参考にした教科書や絵本の紹介をはじめ、本市の学校給食の歩み、各学校や給食センターで使用している食育教材などを展示して、訪れた市民の皆様から給食を懐かしむ声などを頂戴したところでございます。</p> <p>続いて、資料 34 ページでございます。具体的取り組み①-B-9、小学生とその保護者を対象とした親子食育講座でございます。こちらは社会学級や P T A などのご協力をいただいて実施しておりまして、例年、地産地消や朝食づくりをテーマとした調理実習や講話など、各団体においてさまざまな内容を取り上げております。参加者からは、親子で食の知識を深めることができた、家では見られない子供の新たな一面を見ることができてよかったといった声が多く寄せられています。今年度は 1 月末までに 43 校での実施を予定しておりまして、現在、実施状況を集計しているところでございます。</p> <p>教育局の主な事業の説明は以上でございます。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。親子での参加という場合に何組ぐらいの方々が参加されていらっしゃいましたか。</p> |
| 総務企画部長 (委員代理) | <p>今、集計中なので、申しわけありません。</p> |
| 会長 | <p>では、わかりましたら教えていただければと思います。</p> <p>続きまして健康福祉局、よろしく願いいたします。</p> |

私のほうからは、健康福祉局、それから各保健福祉センターの取り組み状況についてご報告をさせていただきたいと思います。

資料は 36 ページから 49 ページまででございますが、本日はまず 38 ページ、①-A-5 「若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます」ということに関連いたしまして、事業番号で言えば 1、大学生の食育プロジェクトでございます。このプロジェクトは平成 24 年から実施いたしております、今年度も「野菜を食べることを実践する若者を増やそう」というテーマで進めてまいりました。本日配付させていただきました抜粋版ではございますけれども、レシピ集を作成してまいりました。

この大学生の食育プロジェクトでは、これまでも減塩レシピ集でありますとか自炊ガイドなどを作成してきております。大学祭の場面での啓発でありますとか、学生さんを対象とした健康教育の際にはそれらを活用して進めているということもございます。また、大学の中には保健室にこうしたレシピを設置していただける大学なども出てきてまいりまして、そのような活用が図られるという事例も広がってきております。

2 番目、若い世代の健康づくり支援事業でございますが、各保健福祉センターにおきまして、区内の大学や専門学校さんと連携を図りまして、若い世代へ向けた食育推進の取り組みを継続的に進めております。ひとり暮らしを新たに始めることになる大学 1 年生の方に対しまして、食事の基本やコンビニの上手な利用法など、学校のほうからお招きをいただきまして、こちらで出かけていって授業の一環としてそういうことを啓発する場面も頂戴することができまして、学校関係者の皆様と健康づくりや食育の啓発に対する意識を共有できるようになってきたのではないかと感じております。

43 ページをお願いいたします。①-D-1 「企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します」の取り組みであります。その中の一番下、8 番目、健康づくり推進のための環境整備啓発事業、新規となつてございますけれども、この中にございます仙台いきいき市民健康フォーラム自体は継続的に取り組んでまいったものでございます。今年度は、これまでパネルディスカッション的な取り組みであったものに加えまして、保健、医療、食育に係る団体、民間の事業者の皆様方も含めまして、健康づくりブースを開設していただいて、食や運動、健康づくりの環境整備などを進めていく取り組みの一つとして、新たな形式で実施をさせていただきました。

その一つとして、健康増進センターと区保健福祉センター、健康政策課共同で食に関するブースを開設させていただいております。内容といたしましては、1 日 350 グラムの野菜をとろうということでございますけれども、そういった取り組みを進めていくために、野菜 350 グラムというのはどの程度の量なのかといったことをクイズ形式で問いかけるような取り組み、それから減塩の大切さを知っていただくために料理に含まれる塩分量の提示、展示などを行いました。クイズに参加された皆様は、自分が食べている野菜の量が、多いのか少ないのか、こんなに食べなきゃいけないのかとか、イメージしながら考えていただけたのではないかと考えております。

最後でございます。食の安全に関する取り組みでございまして、48 ページ、⑤-A-1 「食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります」ということで、4 番、食品の安全性に関する講演会の開催をごらんいただきたいと思います。

食品の安全性確保に関しまして、市民の皆様理解と関心を深めていただくため、食品の安全性に関する講演会を毎年開催いたしております。資料作成時点では間に合いませんでしたので、令和 2 年 1 月 27 日（予定）ということにしてお

| | |
|------|---|
| | <p>りましたけれども、1月27日に開催いたしまして、111名の市民の皆様のご参加を頂戴できました。</p> <p>内容といたしましては、近年、仙台市において、食肉を生で食べる、あるいは加熱不足で食べるといったことによる食中毒が多く発生しているという状況も踏まえまして、食肉による食中毒防止についてというテーマで、東京家政大学の森田教授にご講演をいただきました。家畜がもともと持っている病原や人畜共通感染症などについてご解説をいただき、なぜ食肉は正しく調理しないと危険であるかなどのお話をいただいております。</p> <p>4つの事業についてご紹介をさせていただきました。以上でございます。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。机上にありますレシピ集の抜粋版になりますけれども、大学生が若い世代に啓発事業をされてきたということでございまして、ぜひ若い人たちにも野菜をしっかりと食べていただきたいなと思います。ありがとうございました。</p> <p>ここで、市民公募委員の中村委員からもお話を伺いたいと思います。これまでの取り組みのご報告を聞かれまして、ご感想、ご質問などございましたらお願いします。</p> |
| 中村委員 | <p>取り組みのお話でよろしいでしょうか。</p> <p>私のほうでは、若い世代の主婦の皆さんに対しての料理教室をやっておりまして、先日の水害があった際、丸森町のご支援として、丸森町の伝統食材であります「ひっぽのへそ大根」を使いましたカレー教室を行いました。そちらでチャリティをさせていただきまして、集まったお金を丸森町に寄附というような活動をさせていただきました。</p> <p>また、若いお母さんたち、働いている方たちは、お料理をすることに対して非常に抵抗感を持っている感じがしまして、もっとより簡単につくりたいというニーズがすごく多くなってきているように思っております。ハードルを自分自身で上げてしまっている方たちがとても多いのですが、今年度はおせち講座を行いまして、私どもでデモンストレーションをして、直接皆さんに調理にかかわっていただくというよりは、まずおせちを知っていただいて、食べていただくということをメインにやらせていただきました。歴史であるとか、バックボーンを知るとだいぶ気持ちが和らぎまして、ご自分のおうちでもつくりましたという形でお写真をいただいたということがありました。</p> <p>それから、今はスーパーでいろいろなものが売られていますので、実際に旬というものを知らない若いお母さんたちが多くて、どういうふうにお伝えしたらいいかなということで、二十四節気の暦をベースにして、毎月2回ほどありますけれども、旬の食材と、土用などをベースにした食養生についての情報をSNS発信しまして、反応を見たりしておりました。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 会長 | <p>SNS発信でどれぐらいの反応がございましたか。</p> |
| 中村委員 | <p>毎日、大体見てくださっている方が300名程度おりまして、より簡単なレシピや、地元の農家さんとの触れ合いみたいな内容から旬の食材、実際に畑でとれる旬の食材などを発信しましたところ、多く反応が返ってきたなという印象があります。ですので、知りたくないわけではなくて、時間のないところでどういうふうに情報をとるかということを生懸命考えられているんだというのが実感としてございます。</p> |

| | |
|---------------|---|
| <p>会長</p> | <p>ありがとうございました。それだけ食に関心があるというふうにも思いました。ありがとうございました。</p> <p>では、皆様からお話しいただきました実施状況等につきまして、ご質問やご意見などございましたらご発言をお願いいたします。渡辺委員、よろしく申し上げます。</p> |
| <p>渡辺委員</p> | <p>2点ほどございます。</p> <p>まず、29ページのフードドライブの取り組みを年2回、環境関連のイベントでされているということで、フードドライブの取り組みを市民に発信するというのは難しいかと思うんですが、通常でもフードドライブの取り組みをやられているのかどうか。それから、どういう場でどのぐらいの回数でされているのかをちょっとお聞きしたいなと思っています。</p> <p>なぜかと申しますと、推進計画でもフードドライブを市民に周知、広めようということも記載されておりますので、こちら辺の観点でちょっとお聞きしたいと思います。</p> <p>それから、37ページの一番下の4番目のところ、食育サポーターの活動支援ということで、推進計画には食育サポーターの活動を支援しましょうということで載っておりますけれども、今年度の活動を見ますと、なかなか参加者と研修等も少ないという中で、現在、食育サポーターの登録人数、それから食育サポーターの今後の活動状況はどのようなものをお考えなのかということをお聞きしたいと思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>それでは、2つのご質問がございましたけれども、まず1つ目の29ページのフードバンク、フードドライブのことにつきましては環境局でよろしいでしょうか。</p> |
| <p>環境企画課長</p> | <p>環境企画課の栗永と申します。</p> <p>私のほうからフードドライブの取り組みについてご紹介をさせていただきます。</p> <p>記載のとおり、年に2回ほどフードドライブのキャンペーンを実施しており、回収箱の設置をいたしまして、集めたものをNPOのAGA INさんと連携いたしまして、そちらのほうに提供して、困っている方々に配布するという取り組みになってございます。</p> <p>10月のものが実績として載せさせていただいておりますけれども、設置場所は区役所や本庁舎、それから仙台市環境部のリサイクルプラザが今泉工場と葛岡の清掃工場とございます。そういった市民利用施設のほかに、10月につきましてはイオンさんと連携し5店舗ほど協力いただきまして、回収箱を設置いたしました。記載のとおり、2,397品目、1,233キロですから大体1.2トン強ぐらいの回収があったということになってございます。</p> <p>昨年は、まずトライアルで開始したこともあって、回収場所も市民利用施設のみになっていたりとか、あるいは回収する品目も例えばレトルトであるとか缶詰、インスタントに限定してしまったということもあって、回収量は期待したほどは伸びなかったんですが、今年度はイオンさんの集客が非常にあるものですから、協力いただいたことによって、これだけの実績となったところでございます。</p> <p>今年の2月のキャンペーンといたしまして、2月3日から28日の間で同じように区役所、リサイクルプラザ等の市民利用施設のほかに、今回はヤマザワさんと連携をし、2店舗に設置をさせていただくことになっております。どこの店舗にあるかは、ホームページ上で既にPRはされているかと思っております。本庁舎1階</p> |

| | |
|----------------|--|
| | <p>にも、来週からのキャンペーンに向けて設置をしたというところがございます。通常、回収箱は特に設けておりませんので、年に2回については来年度も引き続き実施をしていくとともに、利用拡大に向けて設置場所をいろいろと工夫してまいりたいと思っております。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 会長 | <p>それでは、2つ目の質問でございます。食育サポーターの登録人数と活動状況等につきまして、よろしく願いいたします。</p> |
| 健康政策課長 | <p>健康政策課からお答えいたします。</p> <p>仙台食育推進隊として登録をしております数は現在仙台市全体で13団体ございますが、人数は把握していないところでございます。</p> |
| 宮城野区 家庭健康課長 | <p>宮城野区には4団体ありますが、こちらも具体的な人数は把握していません。皆さんかなりお忙しい方なものですから、なかなか集まる機会が持てなくて、今回も9月に研修を開きましたが、8名の参加となりました。行政研修もやらなければとは思いますが、日程の都合がつかず、まだ具体的なところは動いていないというのが現状でございます。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございます。人数の把握ができていないという状況でございましたけれども、食育サポーターを増やしていくことも考えていかなくてはいけないかなと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは、ほかにもございませんでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。今年度の事業はまだ3月まで継続するものもあろうと思います。来年度以降も後期計画の目標達成を目指してお互いに活動を進めてまいりたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>(2)「食育推進」を目的としたロゴマークの作成・活用について</p> <p>それでは、議事の(2)「食育推進」を目的としたロゴマークの作成・活用についてに移ります。</p> <p>本食育推進会議では、それぞれの団体や仙台市の関係部署の食育計画実施状況を共有しまして、連携、協働を進める場として進めてまいりましたが、より食育を広く推進していくために共通で取り組めることとして、食育推進を目的としたロゴマークの作成を検討しております。</p> <p>初めに、事務局からこのご説明をお願いいたします。</p> |
| 健康政策課長 | <p>資料2-1、資料2-2に基づき、ご説明をさせていただきます。</p> <p>まず初めに、資料2-1をごらんください。</p> <p>初めに、ロゴマークを作成しようと考えた経緯につきまして、食育の基本な考え方、仙台市の食育に関する状況を記載しております。3段落目からになりますけれども、食育は、個人が主体的に取り組むことが基本となりますが、食育に関係する組織や団体が相互に連携し、一体となって推進することが求められております。仙台市食育推進会議は、仙台市を含めました食育にかかわるさまざまな関係団体が連携、協働を進める場としての役割を担っているところでございます。今後、市民がさまざまな機会を通じて食育を一層推進するために、関係組織や団体が共通に取り組める手法の一つといたしましてロゴマークの作成と活用を企画したところでございます。</p> <p>目的ですが、食育推進会議関係団体や仙台市の食育推進関係部署が一体的に食</p> |

| | |
|-------------|---|
| | <p>育を取り組むために、共通で使える食育推進ロゴマークを作成し、ロゴマークを活用した食育を広く推進することで、食育に関心がある人の増加を目指します。食育推進会議関係団体の皆様のご協力を得まして、それぞれの取り組みの中でロゴマークを共通で活用することで、市民がロゴマークを目にする機会が増え、食育についての関心が高まることを期待するものでございます。</p> <p>次に、使用手順になります。まず、事前に申請書をご提出いただきまして、データをお渡しいたします。</p> <p>活用方法といたしましては、皆様の食育の取り組みの中で、例えばおたよりとかチラシ、グッズなどにロゴマークを入れていただくというイメージでございます。もしそのようなことが難しい場合には、健康政策課でロゴマーク入りの食育啓発用のチラシを作成する予定でございますので、そちらをぜひご活用いただければと思っております。</p> <p>裏面をごらんください。こちらに健康政策課や区役所での具体的な活用例を記載しております。区役所などで配布いたします食育のリーフレットなどに掲載、イベント等で配布する啓発物に掲載するなどの活用を考えております。また、既存のロゴマーク、例えばそちらに掲載しております「塩エコ」などのマークと一緒に掲載するなど可能であると考えております。皆様の取り組みの中でも、既存のロゴマークやキャッチフレーズなどがございましたら一緒にご活用いただければと思います。</p> <p>次に、使用時期になりますが、年間を通しての使用は可能でございますが、国で定める6月の食育月間や11月の宮城県食育推進月間には何かしらロゴマークを使った取り組みを実施していただくことをお願いしたいところでございます。</p> <p>最後に、ロゴマークの作成のスケジュールになります。ロゴマークは市内のデザイン学科のある大学の学生さん数名に依頼したいと思っております。この会議の後、大学等への依頼をしたいと考えております。学生にはロゴマークの作成と来年度の食育推進会議でのプレゼンを依頼いたしまして、その上で検討したいと考えております。その後、ロゴマークの使用開始は9月から10月ごろと考えております。</p> <p>資料2-2にはスケジュールの詳細をまとめてございますので、ごらんいただければと思います。</p> <p>「食育推進」を目的としたロゴマークの作成・活用についての説明は以上でございます。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ありがとうございました。大きな目的は、食育に関心のある人を増やしていくということで、さまざまな分野で私たち食育活動をしています。そのPRの一つの方法かなと思っております。</p> <p>委員の方々の団体等の中で食育の取り組みの中にロゴマークを取り入れていくということで、市民がロゴマークを目にする機会が増えると、仙台市全体としての食育推進が広まっていくのではないかと思います。</p> <p>健康政策課長からの説明に対しますご質問、ご意見はございますでしょうか。中村委員、いかがでしょうか。</p> |
| <p>中村委員</p> | <p>食育のマークができるというのは非常にいいことだなと思えました。仙台市としての取り組みが一般的に暮らしているとそこまで目に入らない部分がありますので、例えばスーパーマーケットで見かけたりとか、あとは幼稚園ですとか保育園のプリント等で見かけたりすれば、市民の啓発、啓蒙活動に直接的につながっていくのではないかなと思えました。</p> |

| | |
|--------------|--|
| <p>会長</p> | <p>ありがとうございました。</p> <p>では、具体的な活用につきまして、ロゴマークを活用できる取り組み、場面などをご紹介いただければと思います。</p> <p>幼稚園で発行するおたよりなどにロゴマークを掲載するなど、可能でございますでしょうか。幼稚園連合会の沢田石委員、いかがでしょうか。</p> |
| <p>沢田石委員</p> | <p>うちの園は宮城学院の附属なので、こども園になるまでは宮城学院のマークを使っていたんですが、こども園になったときに新しくロゴマークを作成しました。名前をわかってほしいというところがすごくあって、宮城学院の中の森のこども園だというのを一生懸命アピールしました。ネームプレートのところにも必ずロゴを入れるようにして、保護者に対しても周知する努力をしました。色々なものをつくるのは難しいので、シールをつくっていろいろなところに貼って保護者の方に知っていただくということを目的としました。また、栄養士からのアイデアで、刺しゅうでつくったロゴマークをブローチにして、ボランティアの人たちに配ったのですが、みんながブローチをつけてボランティアでやったときに一体感があったんです。初めて会った人でもこれをつけていれば一緒に活動している人というのがすごくわかるのです。ロゴマークのよさというのは団体が一目瞭然だということだと思いました。あとは、先生たちが焼き印を作って、それに子供たちが装飾して、お土産として差し上げたこともありました。</p> <p>皆様のいろいろな活動、実践をお伺いして、私も参加したかったと思うような魅力的な活動がたくさんありました。その中に、例えばのぼりのようなものが良いのかどうかはわかりませんが、ここでやっているんだよというのわかるようなもの、それが食育推進を目的とした活動の一環だよというのわかるようなものがあれば、根っこは一つだということがわかると感じました。</p> <p>ロゴマークというと、パンフレットや封書など、それだけで終わらせてしまうと、そういうものもあつたなみたいな浅い認識で終わってしまいます。</p> <p>ただロゴマークをつくり、広めますというだけじゃなくて、何らかの取り組み、市民に広く知らせたいのであれば、各活動のところに見える化することが大事だと思いました。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ありがとうございました。活用の場はたくさんあるなと感じました。</p> <p>食生活改善推進員さんの取り組みの中でいかがでしょうか。既存の資料と一緒にロゴマークを入れた食育の啓発チラシと一緒に配布するというようなことは可能でしょうか。矢部委員、いかがでしょうか。</p> |
| <p>矢部委員</p> | <p>いいと思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>それでは、JAさんなどはいかがでしょうか。ロゴマークを活用できる場面はございますでしょうか。</p> |
| <p>佐藤委員</p> | <p>あぐり塾ではのぼりを掲げてやったりしているので、稲刈りとか田植えのときものぼりがあれば、それも食育という形になると思いますので、大きくつくって目立つようにすればいいのかなと思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ありがとうございました。</p> <p>皆様からさまざまなご意見をいただきましたので、来年度、ロゴマークを決定いたしまして、幅広く活用していければと思います。</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>(3) その他</p> <p>それでは、議事の(3)その他に移ります。皆様から何かございませんでしょうか。</p> <p>ないようでございますので、事務局よりお願いいたします。</p> |
| 健康政策課長 | <p>事務局より3点ございます。</p> <p>1つ目は、令和2年度の食育推進会議の日程でございます。令和2年度第1回食育推進会議は6月下旬から7月上旬をめどに開催予定でございます。その後は必要に応じて随時開催としたいと考えております。</p> <p>2つ目です。委員の改選についてでございます。委員の改選は、現在の委員の皆様様の任期、今年の6月8日までとなっております。次回の食育推進会議は6月下旬以降の日程となる予定でございますので、皆様での会議は今回が最後となる予定でございます。皆様には任期期間中4回の会議にご協力いただきまして、大変ありがとうございました。次期委員の推薦につきましては、別途ご連絡いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>最後3点目でございますけれども、令和元年度の食育推進事業取り組み事例集の作成についてでございます。昨年の8月20日付でお願いの文書をお送りしておりまして、既に幾つかの団体さんからお送りいただいているところでございますけれども、この場にて再度事例のご提供についてお願いをいたします。締め切りは2月28日金曜日でございますが、もしそれ以降に実施する事業につきましてご提供いただく場合には、健康政策課の担当までご連絡をいただきたく存じます。なお、様式のデータをご希望の場合なども担当者までお知らせいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにございませんでしょうか。</p> <p>ないようでございますので、以上で議事を終了させていただきます。</p> <p>委員の皆様には、議事進行にご協力をいただきまして、まことにありがとうございました。そして、今回がこのメンバーでの会議は最後ということになります。2年間、まことにありがとうございました。</p> <p>では、事務局に進行を引き継ぎたいと思います。</p> |
| 進行 | <p><6. 閉会></p> <p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和元年度第2回仙台市食育推進会議を閉会いたします。</p> <p>長時間にわたるご協議、ありがとうございました。</p> |
| | —了— |

令和 2年 月 日

署名委員

印